



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 安達 紀史

令和8年1月23日 No.09

飛躍の一年に

校長 安達 紀史

新しい年が始まりました。本年も、府中第五中学校の生徒のために、教職員一同力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

3学期の始業式の校長講話では、「2026年、飛躍の年にしよう」という話をしました。その一部を、以下に掲載させていただきます。

今年の干支は午（うま）です。ただの午年ではなく、丙午（ひのえうま）といって、60年に一度めぐってくる特別な年です。馬は、成長や成功、繁栄のシンボルとして、昔から縁起がよいものとされています。さらに、「丙午の年は勢いが強い」と言われ、歴史の中でも挑戦や転換の年になることが多いと伝えられています。

ここ府中市は、東京競馬場があり、馬と深いゆかりがあります。その昔、この辺りは牧草地で良質な馬が育てられ、朝廷へ献上されていました。毎年5月に、大國魂神社のくらやみ祭で行われる「競馬式（駒くらべ）」は千年以上続く伝統行事の一つで、この歴史に由来があると聞きました。

府中第五中学校の皆さんも、この丙午の年にふさわしく、「飛躍の年」にしてください。3年生は、いよいよ進路決定の時がやってきます。不安や緊張でとても苦しい時期だと思いますが、健康には十分に気を付けて、自分の道を切り拓くまで頑張りましょう。1・2年生の皆さんも、学習面や生活面の自分の目標に向かって、一步でも二歩でも前進すること。その積み重ねが、大きな飛躍につながります。馬は、ただ速く走るだけでなく、困難な道でも力強く、そして、しなやかに駆け抜けられる存在です。この3学期もいろいろなことがあると思います。楽しいことばかりではないかもしれません。でも、「きっと、うまくいく！」と信じて、何事も前向きに挑戦していきましょう。

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

60年に一度の丙午という特別な年を迎え、本校も、子供たちと同じように「飛躍の年」としたいと考えております。誰もが安心して学び、生徒一人一人の可能性を最大限に引き出すことを第一として、これまでの伝統を大切にしながらも、新しい取り組みに挑戦してまいります。学校と家庭と地域とが手を携えて、子供たちの成長を共に支えてまいりたいと存じます。本年も引き続き、ご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



生徒の活動の様子



餅つき大会ボランティア



新町文化センターで行われた餅つき大会にボランティアとして参加しました。当日は地域の方々と協力し、餅つきの補助や会場案内、配膳など、さまざまな役割を積極的に担いました。初めて体験する作業に戸惑いながらも、参加者の笑顔や「ありがとう」という言葉に励まされ、生徒たちは地域の温かさを実感した様子でした。今回の活動を通して、生徒たちは地域とつながり、社会に貢献する喜びを学ぶことができました。今後も地域と共に歩む学校として、こうした交流の機会を大切にしていきたいと思います。

お雑煮



英検の様子

3学年 書初め



2学年 校外学習(事前学習)



本校を準会場として英検を実施し、2級から5級まで計65名の生徒が受験しました。当日の試験監督には保護者の皆さんにご協力いただき、円滑に運営することができました。また来年度も実施を予定しております。

全校生徒が書初めに取り組みました。授業や冬休み中に練習を重ね、一画一画に気持ちを込めて筆を運び、堂々とした力作がそろいました。書き初めならではの清々しい雰囲気が学校に広がっています。

また、2年生は校外学習に向けた事前学習として、調べ学習の成果をまとめた掲示物を作成しました。資料や写真を工夫してレイアウトした内容は見応えがあります。自ら学び、仲間と協力して形にした掲示は、校外学習への期待を高めるとともに、学習の足跡として廊下を彩っています。

ウインドアンサンブル部が昼休みにホールで金管五重奏を披露しました。力強く温かい音色が響き渡り、多くの生徒が聴きに集まりました。日頃の練習の成果が伝わる素晴らしい演奏となりました。



ウインドアンサンブル部 金管五重奏の発表